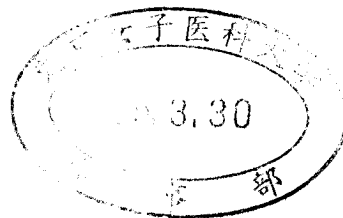


2005年度 Block. 5

課題 No. 1

「階段で息切れ」



この資料は、印刷された資料の複製を禁ずるものではありません。ご了承ください。

シート1

橋本幸彦さんは50歳の会社員です。半年前から疲れやすさを感じるようになりました。さらに、1ヶ月前から階段を昇ると息が切れ、心臓がドキドキするようになりました。

[抽出を期待する事項]

易疲労感
息切れ
動悸

シート2

最近、風邪をひきやすくなり、なかなか治りません。また、ぶつけた覚えがないのに四肢にあざができるようになり、病院を受診しました。

[抽出を期待する事項]

易感染性
出血傾向
紫斑

シート3

身体所見では、眼瞼結膜に高度の貧血を認め、眼球結膜に黄疸を認めました。心尖部に最強点を有する Levine II 度の収縮期雑音を聴取しました。肝脾腫は認めませんでした。四肢には紫斑が多数認められました。

― [抽出を期待する事項]

貧血

黄疸

出血傾向

汎血球減少症

溶血性貧血

貧血や出血傾向の成因

血球の産生機序

シート4

骨髓検査が行われ、その後、本人と妻は担当医師から病気の説明を受けました。骨髓での血球産生が低下しているばかりでなく、溶血も認められるとのことでした。治療法としては、造血幹細胞移植と免疫抑制療法（抗胸腺細胞グロブリンとシクロスポリンによる治療）がありますが、免疫抑制療法の方がよいでしょうと言われました。説明を受けた後、医師からその説明内容を記載した文書を受け取りました。

[抽出を期待する事項]

骨髓の構造と機能
骨髓の低形成
血球の産生機序
再生不良性貧血
溶血性貧血
発作性夜間血色素尿症
免疫抑制療法
造血幹細胞移植
インフォームドコンセント